

12月4日から10日は人権週間です

人権尊重の社会の実現には、私たち1人1人が人権を自分自身に関わる身近な問題として、気づき、考え、行動することが大切です。人権週間を機に、改めて人権について考えてみましょう。

考えよう相手の気持ち
未来へつなげよう
違いを認め合う心

◆知っていますか？ **LGBT**

LGBTに対する社会の理解や認識が不十分であるために、偏見や差別などを受けて苦しんでいる人たちがいる現状があります。



— **LGBT** とは —

L…Lesbian レズビアン（女性を好きになる女性）

G…Gay ゲイ（男性を好きになる男性）

B…Bisexual バイセクシュアル（男性も女性も好きになる人）

T…Transgender トランスジェンダー（心と体の性別が一致しない人）

LGBTという言葉は、これらの頭文字を取ったもので、性的マイノリティー（性的少数派）の総称として使われています。また、LGBTに当てはまらない方も含めてLGBTQやLGBTQIAなどと表現することもあります。

多くの方は自分の身近にはいないと思っているかもしれませんが、日本には性的マイノリティーの方が約8.9%いるとの調査結果（電通ダイバーシティ・ラボLGBT調査2018）があり、50人に4～5人という割合です。

性のあり方に「正しい」や「間違い」はなく、人によっていろいろな形があることは当たり前のことなのですが、人との違いが理解されずに生きづらさを抱えている人もいます。差別や偏見を恐れて言い出せない人が、日常の何気ない会話の中で、あなたの言葉に傷ついているかもしれません。「いない」のではなく「見えていない」だけ、周囲の偏見や理解の無さが本人を苦しめる要因の一つであると考え、正しい知識と柔軟な考えを持ち、誰もが自分らしく生きていける社会を作りましょう。